

市民が見た 軍都高崎の歴史

— 昭和9年陸軍特別大演習 —



高崎駅舎前に建てられた^{ほうげいもん}奉迎門

高崎駅前と観兵式場入口（聖石橋のもと）の2か所には、天皇をお迎えするための奉迎門が建設されました。

令和7年 **11/12** 水

▶▶▶ 令和8年 **3/8** 日

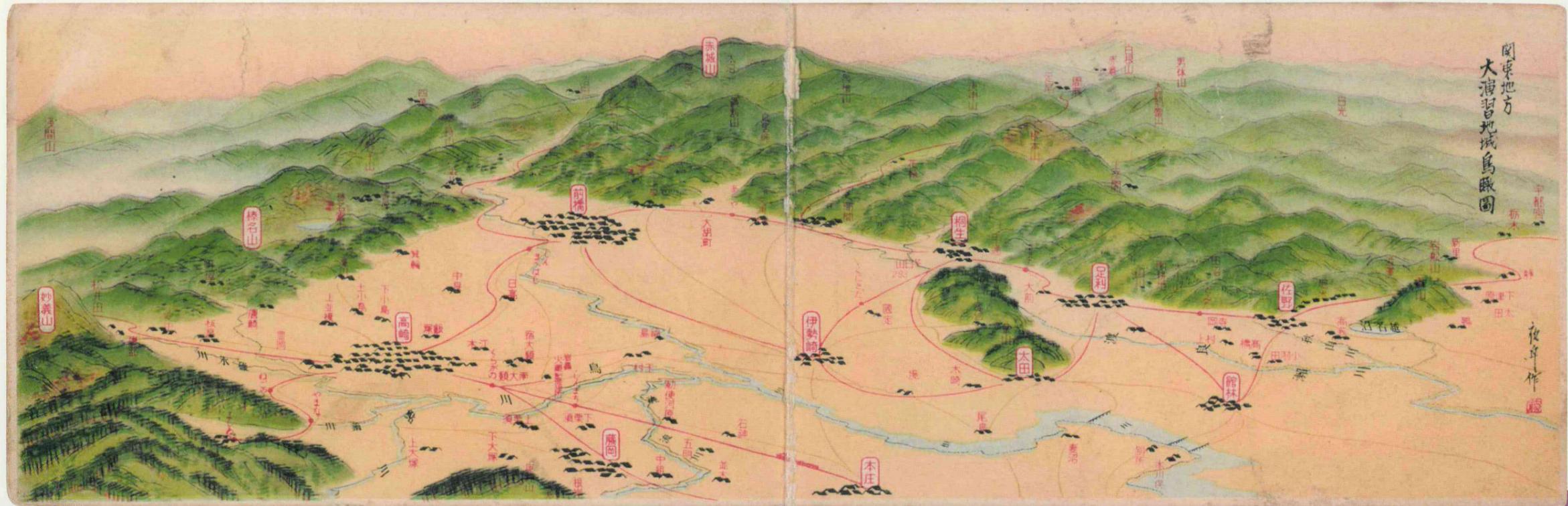
開館時間：午前9時～午後4時

休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始

入館無料

陸軍特別大演習とは、旧日本陸軍の演習の中でも最大規模の演習で天皇が^{そうすい}総帥するものでした。演習は天皇の行幸も兼ねた大掛かりなもので、軍関係者はもとより一般の人々の暮らしにも大きな影響を与えるものでした。

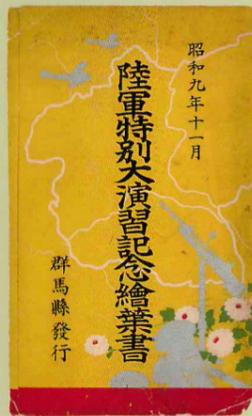
今回の企画展では、昭和9年（1934）11月、群馬県を中心とする周辺の県で行われた陸軍特別大演習をとりあげ、演習の舞台となった高崎市の様子と当時の市民生活を振り返ります。



「^{ちよう かん}關東地方大演習地域鳥瞰圖」

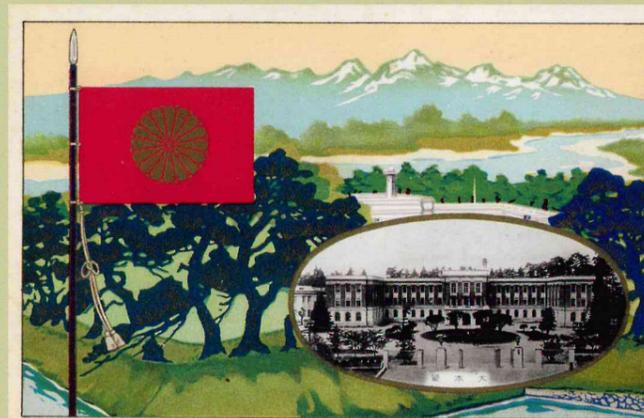
演習と行幸で天皇が訪れた群馬、栃木、埼玉県が鳥瞰図で描かれています。

群馬県が発行した記念絵葉書 (個人蔵)

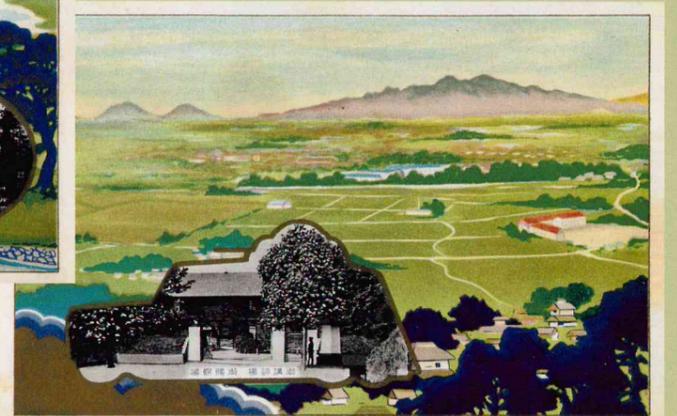


参謀総長と東軍及び西軍司令官

参謀総長の閑院宮載仁親王と阿部司令官 (東軍) 及び荒木司令官 (西軍)



群馬県庁



歩兵第15連隊

演習の様子を伝える絵葉書

「騎兵隊」

各師団から集結した騎馬隊が参加しました。



備準撃突の隊兵騎

(習演大別特軍陸)

こうしゃ ほうたい 「高射砲隊」

高射砲隊は飛来する敵の航空機を攻撃する部隊です。砲弾による爆風や破片で機体を破壊・損傷させます。



射猛の隊砲射高 観壯の戦夜空防 (習演大別特軍陸)

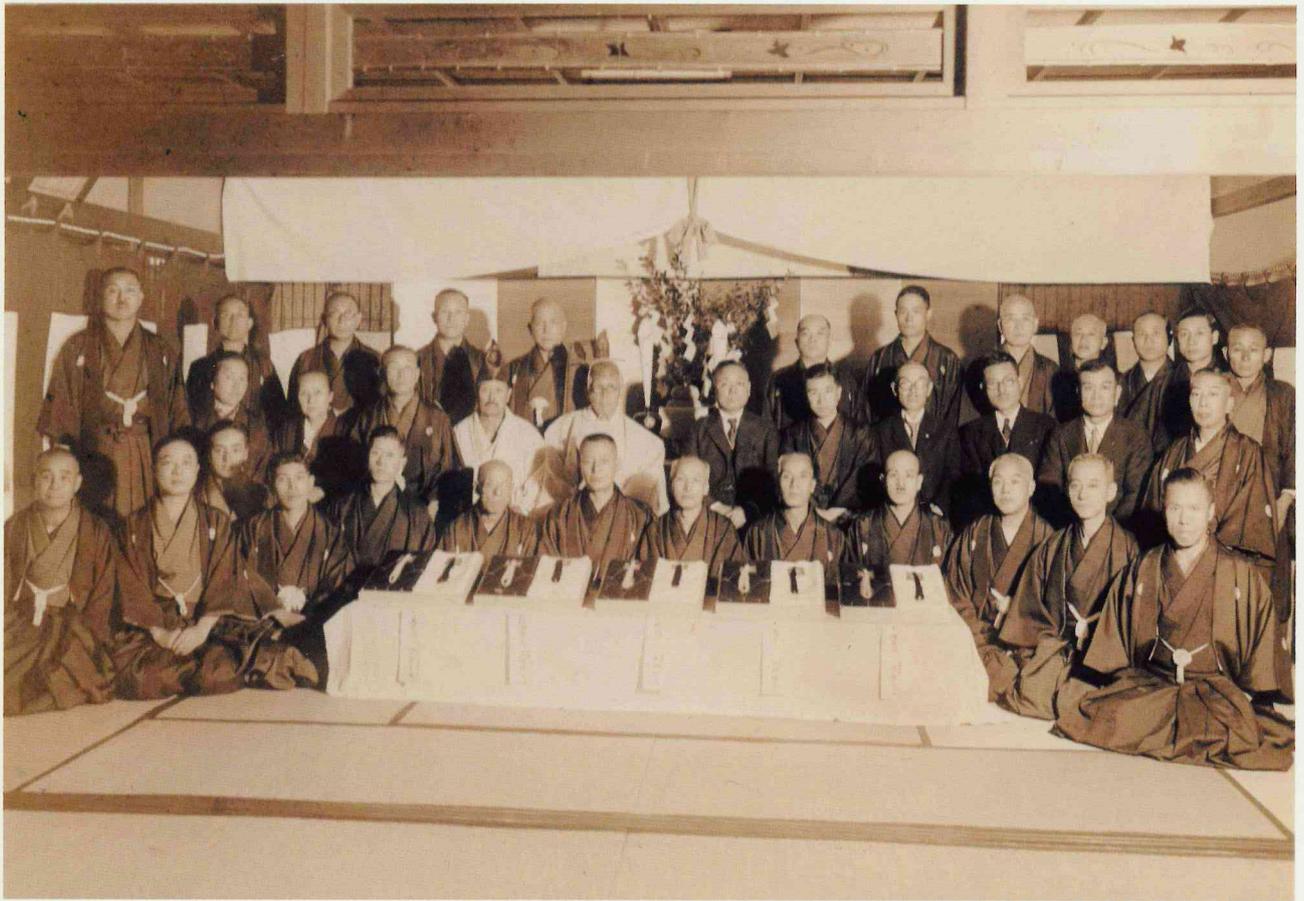
さん ほうたい 「山砲隊」

山砲隊は軽量かつ分解して運搬可能な小型の火砲「山砲」を用い、山岳地帯や不整地で活躍した部隊です。



躍活の隊砲山

(習演大別特軍陸)



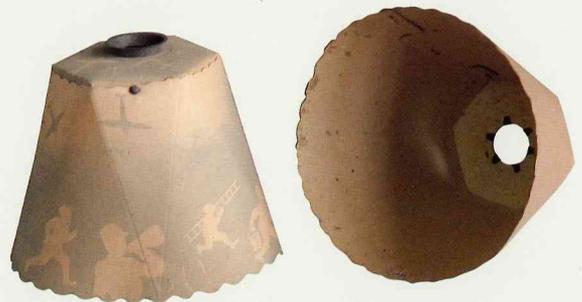
しゅ ぼつ しき
修 祓 式
きぎぬふとおり
 (群馬県生絹太織同業組合)

天皇への献上品は製造する前に、
 場所や人を清めるためのお祓い（修祓式）
 を行ってから着手しました。



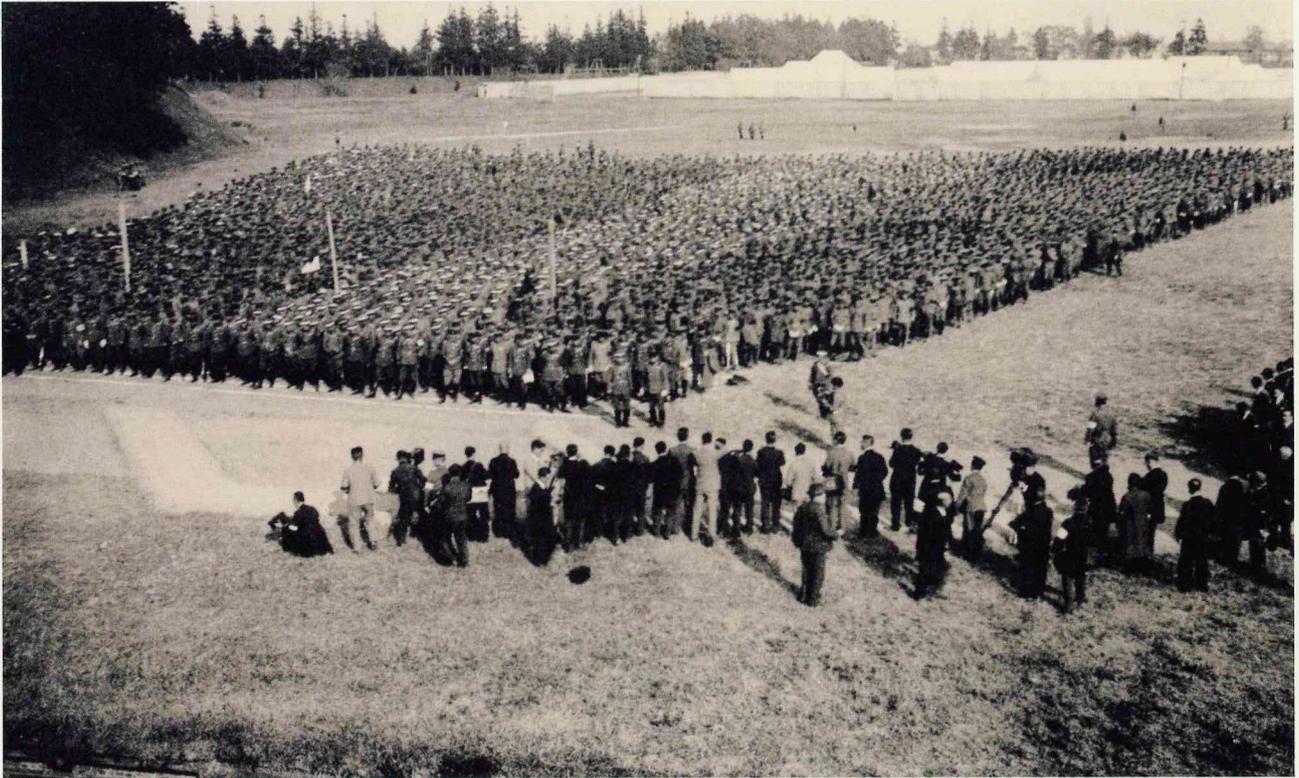
いん りょう てき
 水道標示板 「飲料適」

井戸の水質検査が行われ、合格すると高崎市
 では「鉄板瑠璃塗り」の標識を掲示しました。



ぼう くう よう でん どう しゃ こう かさ
防空用電燈遮光笠

「燈火管制」の際に電球を覆うためのカバー。
 夜間の空襲時に電灯の光が外部に漏れ、敵機の
 目標となることを防ぐために使用されました。



全将校の集合写真

大演習の3日目（11月13日）に講評場となった歩兵第15連隊の兵営内で撮影されました。

高崎市歴史民俗資料館

交通のご案内

〈バス利用〉

- ① JR高崎駅西口（群馬中央バス）
県立女子大行き約30分「慈眼寺裏」下車徒歩3分
- ② JR高崎駅東口（群馬バス）日赤病院行き約20分「下滝西」下車徒歩8分
- ③ JR高崎駅東口（ぐるりん）群馬の森線「滝川郵便局入口」下車徒歩15分

〈自家用車利用〉

- ④ 関越自動車道（高崎IC）5分
- ⑤ 関越自動車道（高崎玉村スマートIC）3分
- ⑥ 北関東自動車道（前橋南IC）5分

駐車場：大型バス3台／普通車20台

〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058
Tel・Fax：027(352)1261
E-mail：rekimin@city.takasaki.gunma.jp

